

令和 8 年度 第 1 回 宇陀市男女共同参画審議会 議事録

日 時：令和 8 年 6 月 29 日（月）14：00～15：15

場 所：宇陀市役所 214 会議室

出席者：

委員（10 名）： 丸岡 伸作 会長（宇陀市人権教育推進協議会会長）
中井 陽子 副会長（人権擁護委員代表）
石角 友恵（宇陀市女性の会代表）
森本 鶴美（部落解放同盟宇陀支部協議会代表）
吉本 健（南都銀行榛原支店支店長）
松村 徳子（大阪大谷大学非常勤講師 DV 相談員）
辻本 博一（宇陀商工会会長）
森本 陽子（自治労宇陀市職員労働組合代表）
佐々木 育子（弁護士）
吉尾 徹（宇陀市校長会会長）

事務局： 前田市民環境部長、小野人権推進課長、
松尾人権推進課調整員、吉田人権推進課員

欠席委員（2 名）： 中田 ひとみ（性と生を考える会）
鍛冶本 克彦（公募委員）

資 料：・次第 ・委員名簿 ・宇陀市男女共同参画条例

- ・「令和 7 年度の宇陀市男女共同参画計画に基づく施策の進捗状況」まとめ
- ・宇陀市男女共同参画計画（第 2 次）概要版
- ・「男女共同参画計画（第 3 次）」の策定について
- ・「男女共同参画週間」に関する啓発ビラ
- ・男女共同参画集会の過去開催実績
- ・7 月の市民集会のチラシ

案 件：(1) 令和 7 年度男女共同参画計画に基づく施策の進捗状況

(2) 「男女共同参画計画（第 3 次）」の策定について

(3) その他

●内容

事務局より説明

- ・配布資料の確認
- ・条例に基づき本審議会の位置づけ、目的について説明
- ・委員 12 名の内 10 名出席のため会議が成立することの報告

1.開会

市民環境部長挨拶

2.委員紹介

出席者紹介（出席委員 10 名・事務局 4 名）

会長挨拶

【案件】

(1) 令和 7 年度男女共同参画計画に基づく施策の進捗状況

事務局より、男女共同参画計画に基づく令和 7 年度の進捗状況を報告。

委員意見

○「男女混合名簿」という表現について

男女のみを前提とする表現になり得るため、「性別によらない名簿」等の表現の検討が必要。

○啓発、研修の実施方法について

勤務体制上、講演会や研修会への参加が困難な現場があるため、短時間で視聴できる動画配信等、参加しやすい形への工夫が必要。

○保育現場における研修参加の困難さ

人員不足により研修参加が難しい実態がある一方、午睡時間等を活用した園内研修を行っている例もある。

○「ほっとスペースつどい」について

奈良県内でも先駆けて取り組んでいることに対して、活用状況を確認する必要がある。

○図書館での啓発強化について

男女共同参画週間の展示に加え、常設の人権関連コーナー等、通年で目に触れる仕組みを図書館と検討してはどうかとの提案。

各分野における取組状況

○賃金等、制度上の男女差は解消されているが、業務慣行にアンコンシャスバイアスが残っている部分もあり、月1回の研修等で是正に取り組んでいる。

○教育現場では職場に女性が多いこともあり、比較的男女差を感じにくい職場環境がある。

○商工関係では、職員は能力に応じて配置されているが、管理職層は男性が多い傾向。小規模事業者では旧来の意識が残っている部分もあり、進めるには時間がかかる。

(2)「男女共同参画計画（第3次）」の策定について

事務局より、「男女共同参画計画（第3次）」の策定について説明。

委員意見・質疑

○アンケート調査の規模

18歳以上の男女2,000人を対象予定。回収率は30～40%（600～800件）を見込む。

○アンケート内容

前回との比較を行うため既存項目も踏まえつつ、現状を把握できる設問を追加検討。案は審議会で事前確認する。

○「男女」という表現について

「男女」という言葉が区別を前提とする可能性があり、代替表現（例：ジェンダー）を含め検討すべきとの意見。

○農林業、商工業等自営業層の把握

宇陀市の特徴的分野であるため、課題やニーズをアンケート等で把握すべきとの意見。

○人口減少、働きやすい職場づくり

若年層流出や少子化の影響が大きく、地域に残れる（戻りたいと思える）環境づくりが重要。
キーワードとして「働きやすい職場づくり」を重視し、各課施策にも反映すべきとの意見。

○アンケートの設計、回収率の向上

- ・「どちらでもない」等、意図が読み取りにくい選択肢の扱いを工夫すべき。
- ・設問量が多いと回答負担が増えるため、目的を明確にして簡潔な内容にすべき。
- ・オンライン回答の併用、インセンティブの検討等により回収率向上を図るべき。
- ・4 択式や 10 点評価方式など、意思が表れやすい形式の提案。

(3) その他

事務局より、「その他」事項について説明

○男女共同参画週間の取組

街頭啓発、啓発ビラ作成、図書館展示、のぼり設置、ふるさとテラスでのパネル展示

○男女共同参画集会

今年度は 9 月開催予定。「誰もが活躍できる組織づくり」をテーマに企業内人推協と連携し
事業者へ周知。人権擁護委員制作の動画上映も予定。

○市民集会（差別をなくす強調月間）

7 月 18 日（土）大宇陀文化会館にて映画「35 年目のラブレター」上映。

会長総括

○「男女混合名簿」「男女共同参画計画」について

「男女」に代わる言葉がないか今後考えていく

○研修について

研修に参加しやすい体制、仕組みづくりを検討

○アンケート調査について

答えやすい調査内容を考えていく必要がある

○働きやすい職場づくりについて

それぞれが働きやすい職場について考えていくことが大切